

もつち

# 兵庫WEEK

ひょうごにあそびが  
ふるさと文化シリーズ

イラスト 高橋 孟

## 自然の中でステキな発見 家族そろってハイキング

細見武司さん

〈兵庫県生活文化部・次長〉

### ボクの家族ハイキング日記



澄みわたる青空、せっかくの休日  
を家の中でゴロゴロしている手はあ  
りません。たまには、家族そろって  
野山を歩き回り、おいしい空気を胸  
いっぱい吸い込んでみませんか。  
兵庫県では、今年度より「こころ  
豊かな人づくり県民運動」の一環と  
して「自然との語らいハイキング」  
を実施しています。このハイキング  
は、日頃、語り合う機会の少なくな  
った親と子の絆をとり戻し、家族の  
素晴らしさを再認識してもらおうと、  
神戸・阪神・東播磨・西播磨・但馬・  
丹波・淡路の県下七地区で、春と秋  
に行なわれるものです。お弁当と水  
筒さえ持っていれば誰でも参加でき  
ます。もちろん、当日参加も大歓迎。  
ひとりでは少し心細いな、と思う人  
も心配なく。単に決められたコー  
スを歩くだけでなく、ゲーム大会や  
ミニ・コンサート、宝さがし、山び  
こコンテストなど各地区とも趣向を  
こらした企画が盛りだくさん。家族  
内でのコミュニケーションのとどま  
らず、あらゆる年齢の人と交流、  
グループ体験ができることもひとつ  
の特徴です。

例えば、4月16日に行なわれた阪  
神地区の場合は、武田尾から桜の園



●和菓子処

○林兵吾するが屋

神戸市兵庫区羽坂道二丁目一七

電話(〇七八)五七六一〇七九〇

蒸し暑い夏に涼味あふ

湊川店 五二一三〇六七  
サン神戸店 三五一六〇七〇

れる贈り物。伝統の味水の香りの梅ゼリー(一八羊羹(一六〇円)、抹茶の〇円)10、15、20、30個味が涼しさを呼ぶ挽茶ようかん(一六〇円)、桜す。

花入り見たためもきれいな求肥入りの登り鮎(二桜ゼリー(一八〇円)、栗〇〇円)はその名の通り、とあずきの素敵なハーモさわやかな夏向きの味。ニ栗栗の子(二〇〇円)、6、9、12、15個入りも金柑がまるごと一つ入っございます。た金柑ゼリー(二六〇円)、日本の夏には日本のお小梅が入ってさわやか梅菓子はどうぞ。



おいしい涼しさの伝統

●デリカショップ

トアロードデリカテッセン

神戸市中央区北長狭通二丁目6-5

電話(〇七八)三三一六五三五

(トアロード)

吟味した材料を使い、純ドイツ式・スコッチ式製法を守り続けて三十余年。添加物を使用していません。スモークサーモン、ハム、ソーセージ、鴨ロースト、ベーコン、チーズなど洋風惣菜の数々。神戶らしい洗練された本物、と全国に知られた味をどうぞ。

お好みに応じた詰め合わせができますので、御贈答にも最適です。



本物の味の数々



up to date  
designing

●ディスプレイ ●エキジビション  
●商業施設 ●レジャー・文化施設  
●催事イベント ●POP、サイン  
トータルデザインingのプロデュース



空間の匠



今、激しく変化する多様化、個性化の時代。  
より魅力ある空間づくりに求められるのは、調査に裏打ちされた  
斬新な企画とターゲットを捉える新鮮なアイデア、そしてそれを実  
現させる総合力です。

フジヤは企画から施工まで、トータルにプロデュースいたします。

up to date designing  
FUJIYA  
株式会社 フジヤ

■神戸支店 〒651 神戸市中央区浜辺通5-1-14 神戸商工貿易センタービル23F

TEL. (078) 232-3661

□瀬営業所 TEL. (078) 854-1515

□S P 室 TEL. (078) 302-5661

□姫路営業所 TEL. (0792) 22-5111

□徳島営業所 TEL. (0886) 53-8082

札幌・仙台・東京・横浜・名古屋・京都・大阪・神戸・広島・福岡・HONG KONG・NEW YORK

# 街づくり 〈7〉

嶋田勝次

神戸大学工学部教授

## 街

### 街角の印象づくりから！

「街」という字は道路の交叉点という意味から展開して来ている。都市の中には街角毎にお地藏さんが祭られていたり、夏の地藏祭りの時に初めてこんなところに祠（ほこら）があつたのかとやつと気がついて来る。

住宅地の中で宗教色を奨励するわけではないが、街のイメージを明確にし、街の特色をまずアピールするのには、街角のもつ意味は大きい。

当り前の街を印象づけ、記憶を持ちつづけることも街づくりのひとつの手がかりを与えるものとなる。快い印象を与える要素として街並を構成する建築の街並もあるし、街路樹もあるが、ここでは街角の一角に小さなスペースでもよいが、街角彫刻を設置することも考えられてよい。

いつかコペンハーゲンの郊外の新しい団地の住居の丁名表示に魚や動物のデザインが書いてあって、子供でも外人でも分りやすいのではないかと思ったことを思い出す。



神戸星和台街並イメージスケッチ／古田義弘

# 家づくり

## 家

### 玄関横に雑物整理の クッションスペースを！

確かに家の中の顔は玄関といえる。始めて人の家を訪ねた時に、その趣味のレベルなどまでうかがうことの出来るのは玄関の花瓶の花であったり、壁に掛っている絵であったり、飾り棚の置きものであったりする。玄関をどう飾るかに対して各家庭の苦労の程は拝察出来るのだが、訪問者は玄関の第一印象をどうとらえているのだろうか。

子供の運動靴が乱雑にぬぎっぱなしになっていたたり、乳母車が突っ込んであったり、スキートの板やゴルフバッグが立てかけてあったり、傘立てから傘がはみ出していたり、外出着が壁にぶら下げられている様子を見ていると床の間と納戸が同居しているように思われて来る。

住宅の玄関は、内外の動線の接点であるが雑物が整理されないまま、置かれていることが多い。玄関横にくさいものに蓋をするようではなく、いろんなものを片附けるクッションになるスペースをまず求めたいものである。



2世帯3世代同居住宅「グランデール」

夢にカタチ 空間にいのち

# SINSEIWA

新屋和不動産

神戸支店

〒651-11 神戸市北区鳴子2丁目17番2

☎ 078(593)7072 FAX 078(591)8985



# あなたのベストカーに、なりたい。

気の合ったGIRLFRIENDS。賑やかに街へくりだせば、陽気に無邪気に大さわぎ。潮風と波光、冴えた緑のアラカルト・ロケーションをアルトで走りぬける、元気な笑顔GANGELSのドライブ・ジャーニー。

ハードに乾いた雰囲気兵庫港。東にボートアイランドが金属的に浮かぶ。セピア色のアンティークさがオシャレ。一番、KOBELらしい港かな。完全なまでにセッティングされた舞台で軽やかにステップをふむヒロインたち。波間を漂うカモメのアンコールの音が風に乗って響く。



SEA :

HYOGO • JETTY  
TSUKIJICHO HYOGOKU  
THE SIGHTS • SEAGULL, WIND, SURF

緑に恵まれた住宅街・王子。いつまでも可愛いものが大好きなOJISのお気にいりは動物園。「だって、ボートでさるのよね」「そうそう、子供と一緒に童心にかえるのもいいね」青い空に消えた赤い風船が懐かしい。



INSTITUTION :

KOBE • OJI • ZOO  
3-1 OJI NADAKU TEL 861-5624  
THE SIGHTS • ELEPHANT, MONKEY, BEAR etc...

BEST ALTO





SHOP :  
HUMMING BIRD  
3-3-23 KIDA NADAKU TEL 821-7429  
THE SIGHTS・LOVERS



# 株式会社 スズキ自販兵庫

神戸市西区伊川谷町有馬1567-1 ☎078-975-1111(代)

尼崎営業所	☎06-482-3641
神戸営業所	☎078-452-6345
神戸営業所	☎078-576-5281
本社営業部	☎078-975-1115
加古川営業所	☎0794-23-3731
姫路営業所	☎0792-52-5255
西脇営業所	☎0795-22-4844
淡路営業所	☎0799-45-0521
スズキキヤ	☎06-416-5281
スズキキヤ	☎0727-72-4901
スズキキヤ	☎0797-73-0351
スズキキヤ	☎078-793-6551

オシャレな店が多い御影。GIRLSのおしゃべりタイムを全面的にバックアップするレストラン・バーに人気が集まる。アツ、アレク、どれ? ナナメ右のカップルの男:「私、バス、押えの切り札にならないかも」テーブルの上のジンジャー・エールの氷もすっかりとけてしまったよう。

口笛が上手な子、ピアノが弾ける子、雨が好きな子、ゴルフが得意な子、趣味も性格もバラバラ…。でも、それぞれが魅力となつてのGIRLSはシャープにキラメク。素敵な子は素敵な子に敏感、の「GIRLS」は素敵となる。彼女たちのドライブ・ジャーニーの応援団として活躍したアルトは、乗る人によって違った魅力が発見でき、自分に合った使いこなしが楽しめるパーソナルカラー。なかなかイヤッ! GIRLFRIENDSの評判もかなり高い。







89年デ・ビヤスダイヤモンド作品コンテスト入賞作品  
デザイン/谷中洋子(白寶堂)制作/馬場義久(白寶堂)

## 虹の彼方に

子供の頃、虹を見つけるとあの向こうには何があるのだろうと憧れました。

今、6月の空に7色の虹が架かると夢がかなうような気がします。

HAKUHODO  
白寶堂

米国家宝石学会 鑑定鑑別士 (G.I.A.G.G.) 大野治代 他2名

●六甲店 ☎078(881)6000 ●カーラ(婦人服とジュエリー) ☎078(843)4100 ●ラポルテ芦屋店 ☎0797(22)8800

## Coffee Break



### ★観光都市神戸の活性化を図る

新しくJTBの神戸支店長に着任された泉寿夫さんは、京都生まれの京都育ち。学生時代は大阪で、昭和



泉 寿夫さん

まだ3カ月程だが、母親が神戸っ子だということもあり、神戸への愛着は深い。

「神戸の特性を生かして地域の活性化を促進させるべく、国際交流の手伝いや、お客様の派遣など、観光の地位向上に役立ちたい」と、力強いことばの中にも、交通形態の変化への対応が要求される「新しい旅」の演出家としての意欲が伝わる。

旅のプロに期待は大きい。

### ★絵でアジアとの交流を

第9回アジア・アセアン賞受賞の大西敏巳さんは、明石生まれの明石育ち。



大西敏巳さん

風景を題材にした抽象画を主に描いてきた大西さんは、まずヨーロッパのスケッチを始めとして、次第にアジアの都市風景をテーマに創作活動をするようになった。

「ヨーロッパにも日本にもないものが、アジアの各地にたくさんあります」と意欲的に取り組むその絵筆は、これからもノスタルジックなアジアの風景を表現し続けるだろう。

尚、先月訪問した中国の無錫で交流した現地の職業画家との合同展を、今年8月2日・7日、明石勤労福祉会館で開く。乞う御期待。

### ★新しいアジアの情報拠点

「アジア都市情報センター」が開所した。4年の歳月を費やし、国連人口基金と神戸市が設置、運営するこのセンターは、アジア各都市のネットワーク作りを目的とし、全国でも例の



上川庄二郎さん

ない試みとして活動を開始した。

神戸市企画調整局部長の上川庄二郎さんは「神戸がアジアのリーディングシティの役割りを果たせるような、奉仕的な情報提供をしていける、そんな情報センターを作りたい」と語る。すでに各都市へのアンケート調査が進行中で、データの蓄積が始まる第一段階。

△国際都市神戸Vに寄せられる期待は大きい。

★お聖さんのお話おまけつき関雲の東京公演

七月の七日(金)八日(土)九日(日)と、東京砂防会館ホールにおいて、関西芸術座が田辺聖子さんの「すべってころんで」を、新屋英子脚色道井直次演出で上演する。

関西では関雲ファンも多いけれど、お聖さんの作品を持って東京公演ともなれば、観客動員がチョツと心もとないのではないかと、



田辺聖子さん

第一部は「中年いま花ざかり」というテーマで、十数年しなかつた講演を四回公演にすべ

て大サービス。大阪弁の中年ちゃんばらんばらん人生賛歌をたっぷり楽しめて四五〇〇円(当日四千円)。題して「田辺聖子さんと楽しむ七夕まつり」。東京ファンの皆さま待っててね。

☎03(386)9192

★六甲を守る新たな運動

神戸六甲ロータリークラブの会長の大谷恭一郎さんは、灘区八幡町にある大谷産婦人科の院長先生でもあり、また神戸市産婦人科医会の副会長でもある。

姫路生まれで岡山で学ばれ、神戸で開業されてから20年になるという六甲山を心から愛する神戸っ子である。



大谷 恭一郎さん

このたびは新聞記事がきっかけになり、六甲山美化奉仕運動のスタートに、六甲山牧場に、小誌が紹介した'88年ローズガーデン大賞を受賞の、外磯秀昭さんの作品CHI△べえを作家が寄附し、設置を当クラブが当ることになった。

「この彫刻にある『豊かな心』で六甲山を愛する人が育つように」願う情熱は、六月四日の除幕式に向けて更に高まっているようだ。

動物園飼育日記

—〈282〉—

亀井一茂

〈王子動物園学芸員〉  
写真撮影も筆者

## 動物園のかけそば！





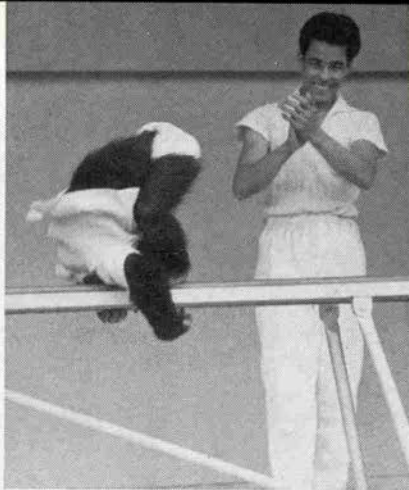
## 亀井様

長い間ご苦労さまです。突然、私ときがお便り差上げてもお解りにならないかも知れませんが、元気でいる間に一度だけ書いてみようと思いを取りました。テレビやラジオでお声を聞き、なんとも言えないなつかしさでいっぱいです。

昭和二十六年の頃、王子公園の東隣りのバラックに田舎から越してきましたが、ふる里を離れた寂しさと生活苦に追われ、生きるのが精いっぱいの日々でした。

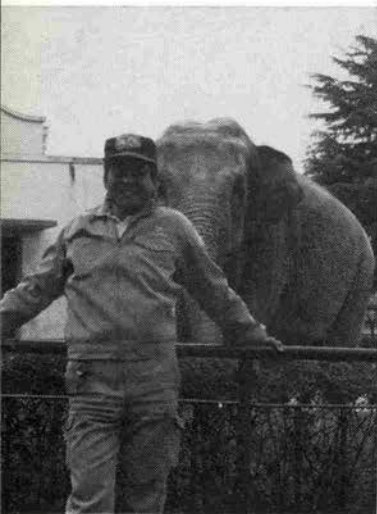
その頃亀井さんのお仕事ぶりや動物への色々のやさしさなど裏で、そっと見ては生きる支えにしてました。

忘れもしない、あの開園の日、昭和二十六年三月二十日、何万人の人出に小さな三人の子を喜ばすこともでき



▲開園当時の筆者

◀飼育係40年が過ぎました



ず、七十歳になった今も亀井様の姿をテレビで拝見するたび、つらく思います、老いのぐちででしょうか。

石ころだらけの焼跡の畠で作った大根、ニンジン葉などウサギさんに、ほりこんで上げ、芋づるは毎年飼育係の方がリヤカーで取りにこられていました。

家族五人が妻ばかりのご飯を炊くの「まき」がなくて動物園周囲のあわだち草の枯れ木を拾っては炊いたのです。

ある日、金網の破れに手を入れて一本折っていたら、ひどく叱られました、確かあの頃の松村副園長だったと記憶して、悲しかったことは忘れることができません。次の日に枯木を集め、小山のように積んだ木に火をつけ焼いてしまいました。

腹が立ちました。かまどの前で悔しくて、大声で泣いてしまいました。貧乏のつらさを、いや程知りました。もう二度と芋づるなどやるものか、と思いました。

今、電気釜のふたを取るたびに、あの時のことが、昨日のように思い出されます。

亀井さま、今話題の「一杯のかけそば」を、お説みになられましたか。つらかったあの時に、つい比較してしまい涙が止まりませんでした。

……中略

今ではあたたかいご飯が頂け、笑って暮せる、親孝行な子供たちに話せる幸せ一ぱいの毎日です。

くだらないことを長々と書きました、ごめんなさい。私はあれ以来王子公園には一度も行ったことございませんが足の悪い主人を連れ、ゆっくり歩いて見たいと考えています。どうぞ、いつまでも、いつまでもお元気で下さい。

人気者の亀井様へ

老ファンより

匿名で申訳ありません。

そうでした。昭和二十五年、神戸産業博覧会場だった現王子競技場一帯の焼跡も動物園であり、飼育事務所と調理場があった。

ゾウ、ベリカン、ヒョウ、ライオン、ラクダ、シカ、ヤギ、ブタのエサを手押車や天秤棒でかついで運んだ。

エサ代の節約から草茹やイモヅルを貰い、三宮市場まで残飯を集めに行ったこと忘れられない。三年目、アシカ舎が完成したがアシカのエサの不足になやんだ。そして西部水道局払下げ三輪自動車を受取りに行ったのは開園四年めのことだった。

荷台がないので松の板で差込み式荷物ボデーを作って運搬作業が飛躍的に向上した。

その間、神戸産業博覧会に動物園が出来たことを市内はもとより近畿一円にPR旁々移動動物園としてゾウやラクダ、ライオンを連れ出稼ぎ出張を続けた。

また国際港都法住民投票や国会議員選挙の啓発にゾウを連れ市内を歩いた。

さらに春の夜桜開園、ホタルまき、夏の京響野外コンサートには会場設営や殺虫剤散布、入場整理など飼育係、事務係一体になったこと、今はなつかしい。

その出張を続けたゾウの摩耶子が肺結核で死亡したのは開園六年めの悲しい出来事だった。

と同じ頃ヒョウが児童を襲い重傷を負わせた。さらにまた、カバ舎の完成予定より十カ月も早くオスのカバが到着、箱檻のまま、ゾウの部屋に同居させた時の苦心。そして輸入動物の検疫所が横浜と神戸にしかなくアフリカからの輸入チャーター船が到着する都度、一時預り飼育場を王子動物園、東の空地に設けた。

一度にキリン十頭、シマウマ二十頭、エランド十頭、ウシカモシカ二十頭。時には子ゾウ二十頭が秋に到着、ばたばた倒れ、手当に没頭した。

日祭日、野外劇場でチンパンジーとオランウータンの曲芸ショウやコントをやった。

そして、ようやく、動物園の体裁が整った昭和三十八



グーグー、おやすみなさいチェリー3歳、金・銀2歳

ーブンカーで志保田園長と二人、六甲山トンネル開通式に参加したこともなつかしい。

だが開園三十九年めの現在、開園当時から動物はゾウの諏訪子ただ一頭となっていました。

満四十八歳、人間では七十歳をはるか越えている顔や体の皺、何よりもヒヅメのひび割れが心配される。

その諏訪子が「アシノ」と大声のサインを送ると、「フー」鼻イキと同時に足を折り曲げてきた。

よく覚えてくれている諏訪子に胸が熱くなった。山から草やササを刈り背にかついでゾウにやった開園当時。今は栽培業者が納入して下さる。

せいっぱい食べて一日でも長命きするんやノ。

年日本初チンパンジーのチェリーちゃんを人工哺育で育てた。その翌年双児のチンパンジーが誕生、オリンピックの年だったので金と銀と名づけた。

その金と銀を抱きオ

# ★神戸の集いから

★一世紀を迎えた

神戸市会記念の集い

神戸市会（第69代野村基



宮崎市長を囲んで

★89花のパーティ開催

4月28日午後1時より兵

庫県公館内迎賓館で今年9



ロミ・山田さん（中央）

★「欧米とアジアの接点」

となるために

5月12日の午後6時より

韓国慶尚北道女性代表団21名を迎え、「日韓親善の集い」が生田神社会館において開催された。

出席者には貝原知事夫妻、中井一夫神戸市長、梁世勲・駐神戸大韓民国総領事、小池義人・日韓親善協会会長、上田将雄・兵庫県日韓親善協会会長、望月美佐・兵庫県日韓親善協会婦人交流会会長の他、同親善関係者ら約150名が集った。

会では、中井さんが乾杯の音頭をとり、日韓両国の友好と発展を祈った。また女性代表団の方々それぞれに望月美佐さんの書が贈呈された。

★地域文化の「たまり場」

三の宮にデビュー

地域文化の振興、小さな「共感の森」として「Kサロン」（主催関西信用金庫田端基安会長）が4月21日オープン。同信用金庫8階の「かんしんホール」でオーブニングイベントが行われ、建築家の武田則明さんが「神戸の街と人」をテーマに講演。熱のこもった話で会場を湧せた。続いて洗濯板や金だらけ、モップなどを楽器にして演奏する「ヤズバンド」のコンサートに、観客は大きな拍手を送った。

同サロンでは毎金曜日にイベントを予定、盛りだくさんな内容を計画している。

式典では、功労者の表彰が取り行われ、記念講演は京都大学の矢野暢教授による「国際化時代の日本と神戸」。西日本が対アジアの国際交流を、東北、北海道がこれからはヨーロッパの国際交流に向うのではと熱のこもった内容。

夏には神戸市の新しい高層ビルへ市会議事堂も移転する。



韓国女性代表団のみなさん



春待ちファミリーバンド



# 坂の街神戸は都会色

安西 水丸さん

(イラストレーター)

シンプルなラインと透明感のある色使いのイラストが若い人を中心に人気の安西水丸さん。村上春樹氏とのコンビをはじめ、最近ではエッセイ、俳句、舞台演出までこなすマルチ人間ぶり。神戸ではじめての個展の際に来神されたところをインタビュー。

★千倉の海は生活する海

—神戸は海の街と言えると思いますが、安西さんも少年時代は海の近くで過ごされたそうですね。

安西 僕は生まれは東京なんですけど、小児ぜんそくのために母の実家がある千葉の千倉に移り住むことになってね。気候は温暖だし、海は近い、子供にとっては本当に恵まれた環境で、遊ぶ場所には事欠かなかった。あの中で育ったことは、僕の人生の中で大きな影響を与えていますね。家のはなれに倉があって、僕の勉強部屋になってたんですが、波の音を聞きながら机に向かっては好きな絵を描いていた。

神戸も港町だから海のイメージがあるけれど、千倉の海とは全く違いますね。あちらの海は「生活する海」。漁師がいて、海女がいて、毎日の糧のもととなっているんですよ。僕から言わせれば、湘南や鎌倉なんて海じゃないと思っています。

—イラストレーターになられたきっかけは？

安西 とにかく絵が好きで、好きで…。ものごとこつこつ

てからずつと自己流で絵を描いていた。ところが僕の母親は明治生まれの古い考え方の人だから、絵かきになんかならねたら困ると思ってずーっと反対して絵はかせてくれなかったんですよ。だから日大の芸術学部に入った時も不安がっていたようだし、死ぬ直前まで「そんな（絵かきみたいにならないうこと）ことをやっていて…」と思っていたみたいです。

★誰でもかけそうでかけない絵

—独得のラインと色あいの水丸画風ですが。

安西 今のようなスタイルになったのはだいたい10年位前からかなあ。ちょうど、紀文が「おいしいものの絵」を公募していて、それに応募して賞をもらった作品が線とパントーン（カラートーン）を使ったイラストだった。あの単純なラインは、誰でもかけそうで真似のできないところが特徴かな。

—モチーフに身近なものが多いですね。

安西 もともと静物画が好きだったんですよ。それに机の上の文房具、生活雑貨、植物なんでももののほうが、人間よりずつとメランコリックな表情をもっているんじゃないかなあ。普通の人が見ても、とても絵にならないようなものを絵にしていくなじみ、もあるしね。普通の画家が選ぶ芸術的なモチーフよりも、その辺にころがっているものが自分のテクニクでいい感じに再現できれば

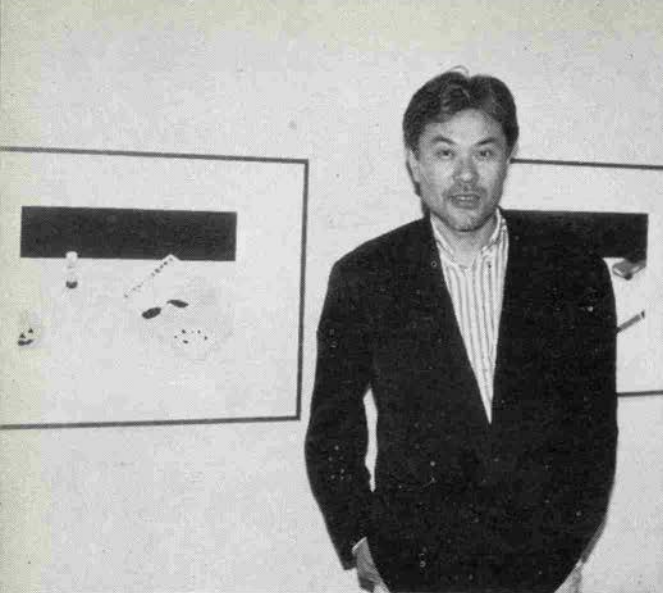
1942年7月東京生まれ。日本大学芸術学部美術科を卒業後、電通に入社。5年勤務したのち、ニューヨークのデザインスタジオに2年間勤務。帰国後平凡社に入社。81年よりイラストレーターとして独立。主な著書に「青の時代」「東京エレジー」「村上朝日堂（文・村上春樹）」など。

嬉しいよね。今の画風も、自分でこうしようと思ってや  
ったわけじゃない。気がついたらこんな感じになってい  
たんだ。

ここに置いてある絵もほとんど静物画で、風景画でも  
人がいないでしょ。というの僕は人の集まるところが  
苦手だね。風景を描く時もあるべく人のいないところ  
で、まるで映画を見に行くつもりで絵を描きに行ってい  
る。ホントに、気の合わない人と話しをしているくらい  
なら、仕事をやっている方がずっと楽しい。

——ニューヨークの思い出は

安西 最近いやにニューヨークがもてはやされているけ  
れど、僕にとってはつまらないところでしたよ。街自体  
も汚いし、気候も激しいし。じゃあなんで行ってたんだ  
と思われるかもしれないけれど。ほんとうは大学時代に  
京都とか金沢といったところで青春を過ごしかっただ  
けど、日大に入ってしまったし。でも自分の若い時の一  
時期を過ごせる場所がどうしても欲しかったんだよね。



作品の前に（アートスペースモープにて）

それに20代のうちに外国に行きたかったし。やっぱりパ  
リが憧れだったんだけどフランス語はまるっきりダメだ  
ったから英語ならなんとかなるかと思ってアメリカへ行  
ったんです。

——最近イラストのみならず、エッセイや俳句、舞台  
演出も手がけられるマルチぶりですね。

安西 うーん、もともと文章も書くのが好きだったこと  
もあるけど、最近では仕事量の半分以上が執筆になってき  
ているなあ。舞台の演出は、シナリオを手伝ったのが縁  
で、じゃあ、演出までやってみないか、という話になっ  
て。まあ、漫画をかいてたから、登場人物が紙面の上で動  
くのと舞台の上になったのと違いかな、と引き受けた訳  
です。でも、あんなに役者というものが演出家がいなけれ  
ば動かないものかと驚きましたね。紙の上の仕事とはま  
ったく違う演出方法を経験しておもしろかったですよ。

俳句の世界はそのシンプルさに魅かれて始めたんです  
僕は小さい頃、書道や剣道を習わされていたんだけど、  
俳句を含めてあいつた東洋芸術は「間」とか「線」を  
とても大事にしているんですよ。この感覚は僕の絵に  
も通じていて、だから絵をかくというよりも書をか  
いている様なところがありますね。でも今の西洋絵画一  
辺の絵画教育より、せっかくの日本の良き伝統を見直  
してもいいんじゃないかと思ってるんです。

### ★グレーが似合う街

——神戸の印象はいかがですか。

安西 僕は今、京都でイラストを教えているので関西に  
は月に一度は来ているけれど、京都・大阪・神戸とでは  
全くカラーが違いますね。まだそんなに歩きまわってい  
ないから神戸の街が自分のものになっていないんだけ  
ど、断片的な思い出と頭の中のイメージを考えあわせ  
ると、グレーかな。いわゆる灰色ではなくて都会の匂いの  
するグレー。坂道があって、異人館が点在して、港町で  
……やっぱり現代的な感覚がよく似合う街ですね。